



おおきに

ニュースレターVol. 25

2012.2 発行

NPO法人スペシャルオリンピックス日本・京都
〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2
京都YMCA内<3F>
TEL 075-211-1574 FAX 075-211-1590
HP <http://www.son-kyoto.com>
E-mail miyake3-2@nifty.com

"Let me win but if I cannot win Let me be brave In the attempt"

「私に勝たせてください。もし勝てないとしても頑張る勇気を持たせてください」

第1回SON・京都地区大会を終えて

大会実行委員長 岡本尚男

今年度で設立15周年を迎えた「SON・京都」は、この15年の間に多くの方々のご支援によって今日まで続けることが出来ました。その間に、NPO法人にも認定され今後の活動が益々社会から期待される団体となって参りました。

この度の「第1回SON・京都地区大会」は創立15年を記念して、また今迄はお世話にばかりになっていた他地区の方々のお世話をさせて頂くことで、なお一層の京都地区関係者の結束を強め、コーチ、ボランティア、ファミリー達の意識の強化によって、日常のアスリートに対するプログラムでの学びの場となればとの思いもありました。

プログラムは10月29日のバレーボールから始まり、11月6日のバスケットボール、20日のトーチウオーク及び同大会の開会式、27日のサッカーと一連のプログラムを企画しました。

本来ならば開会式は10月29日に行うのが順序でありましたが、関係者の多くが集うプログラムがトーチウオークであったこともあり、山田京都府知事、門川京都市市長のご臨席も頂けることから変則的なこととなりましたが、この点をご容赦ください。

夫々のプログラムの詳細は別紙に譲りますが、京都地区の関係者が一丸となってプログラムの運営、準備に当たってくださり大きな事故もなく終わることが出来ましたことはありがたいことでした。

本大会をホストすることによって、京都地区の皆さんは「お世話をする大変さ」と「お世話をさせて頂くことの喜び」を実際に体験されました。この経験が次の16年目に向けての発展に繋がられることを願っています。

最後にコーチ、ボランティア、ファミリー全員がもっと各プログラムにも参加して頂き、それぞれのプログラム関係者との交流が広がれば良かったと感じました。またこのことも今後の課題の一つかとも思いました。プログラムごとに固まりすぎずもっと流動的に、関わって新しい出会いと経験を積んでくだされば良かったと思いました。

終わりに事務局を担ってくださり、様々な準備に目を配り走り回ってくださった皆様に心からの感謝を捧げます。ありがとうございました。



京都地区大会バスケットボール競技

1. 競技会日時 2011年11月20（日）9:30～15:30
2. 競技会会場 京都市立京都御池中学校
〒604-0955
京都市中京区柳馬場通御池上る虎石町45-3
3. 主催
NPO法人スペシャルオリンピックス日本・京都
4. スケジュール
9:30 選手団受付・ヘッドコーチミーティング
10:00 開会式
10:30 競技開始
15:30 閉会式
5. 競技結果
予選①京都 v s 大阪（75-3）/滋賀 v s 奈良（31-20）
予選②奈良 v s 京都（27-46）/大阪 v s 滋賀（10-37）
予選③滋賀 v s 京都（9-51）/大阪 v s 奈良（14-52）

【予選順位】 1位：京都（3勝）
2位：滋賀（2勝1敗）
3位：奈良（1勝2敗）
4位：大阪（3敗）
決勝戦 京都【予選1位】 v s 滋賀【予選2位】（36-9）
3位決定戦 大阪【予選3位】 vs 奈良【予選4位】（16-60）
【最終順位】 1位：京都 2位：滋賀 3位：奈良 4位：大阪
6. 参加者 アスリート18名、コーチ7名（山科、谷川、東、岡島、吉田、熊谷、石上）
7. 参加経費アスリート 500円（参加費500円）

SON京都バスケットボールプログラム
コーチ 東 智史

11月20日、京都御池中学校にて第1回京都地区大会を開催致しました。今回は、バスケで楽しいのはやはり「試合」だろうというコーチ陣の考えから、ローカルルールとして、チーム競技の経験が浅いアスリートの出場時間を設け、多くのアスリートに「試合」を楽しんでもらうことに致しました。どんなゲームになるのかと思っておりましたが、試合慣れしているアスリートに負けにくいくらいのプレーを見せてくれました。

9月の全国バスケットボール大会の銀メダルも嬉しいものでしたが、今回はSON京都全員の力で手に入れた金メダルとあって、また違った喜びがありました。

今回の大会を終えてコーチ、アスリートともに成長を感じることができ、また、新たな課題も見つかりました。更なる成長を求めて今後のプログラムに取り組みたいと思います。

最後になりましたが、京都御池中学校の先生方、ボランティアの皆様、ファミリーの皆様、多大なるご協力を賜り、本当にありがとうございました。



京都サッカーは金メダル!!

アスリート 古井宣光

僕はS0サッカーで「第一回京都地区大会」に出場しました。京都は全部で4試合に出ました。京都の他には広島・三重・愛知・東京が出場しました。

大会が行われた場所は「京都パープルサンガ」の練習グラウンドでした。人工芝で午前9時から午後2時くらいまで試合がありました。そこで京都チームは勝ち続け、なんと金メダルを獲得！その時、僕は京都のみんなの力とったぞ！ありがたい気持ちでした。

僕は第二、第四試合に出場しました。第二試合は僕にとってはちょっと緊張の一戦でした。第四試合は自信满满で試合ができました。

今回の大会に出場できて本当に良かったです。また雨も降らずに開催できてよかったです。

（光新聞より抜粋）



恒例 2011 鴨川チャリティートーチウォーク開催される

スペシャルオリンピックスのトーチウォークに初めて参加した。

スペシャルオリンピックスののぼりを持って、ボウリングプログラムは出雲路橋からスタートした。北山から歩いてきた人達と合流して、鴨川の河川敷を歩いた。

途中で各プログラムの人達や、京都府の山田知事と合流しながら鴨川の御池大橋から上がって、御池中学まで歩いた。たくさんの協力団体の人達も一緒に歩いた。

これからも、こういう行事があれば参加したいと思います。

アスリート 福田和信



千 容子理事長の挨拶



山田京都府知事も参加されました



昨年10月にSONナショナルミーティングが開催されました。

その際、SON・京都のアスリート 橋 勇介君がアスリートスピーチコンテストに参加し入賞いたしました。

以下はその時の橋勇佑君のスピーチ原稿です。

SON・京都に入った訳（サッカーの現況）

橋 勇佑

スペシャルオリンピックス日本・京都に入った訳は、サッカーがやりたくって支援先の先生に探してもらい、SONに辿り着きました。

それから…4年経ち、3年間はずっとサッカーをやり、今年はサッカー、バスケットボールをやりましたが、バスケットボールは仕事があり、時間が合わなくなり辞めました。そこからサッカー一本にしました。

今現在のサッカーの状況ですが、昨年9名位だったメンバー数が今年は6名増えて15名位になりました。練習内容も変わり、昨年まではただのボール蹴りだったのが今年からはシュート練習、基礎練習、練習試合をしています。

なぜ急に練習メニューが変わったのかというと、昨年行われたナショナルゲームでの敗戦で、一部のアスリートから「負けて悔しい、勝ちたい!」という気持ちが出て練習メニューが変わりました。

練習試合を行ったりしていますが3戦全敗です。負ける原因はコミュニケーションが取れてないからです。これから修正していきたいと思っています。

SON・京都のチームには色々な障害を持っているアスリートがいます。目がちょっと見にくい人、サッカーのルールが解っていない人、また解っているアスリートがいます。そのチームのキャプテンをしているので、どのようにコミュニケーションを取り、指示をすればいいのかわからなくなりました。改めてチームをまとめる難しさを感じました。もっと自分自身を含む、チーム全体で前向きに取り組んでいきたいです。僕は思うのですが、SON・京都のサッカーチームはもっとコミュニケーションを図り、しっかり練習したら今よりもっと強くなると感じています。時間はかかるとは思いますが地道にやっていきます。

またユニティカップの時はSO日本はじめ、各地区にあるSO組織のサポートがあったからこそ成功で終わることが出来、怪我なく帰国できました。1年経った今も感謝でいっぱいです。ありがとうございました。この体験を生かしSON・京都で頑張っていきます。

楽しいクリスマス会

2011年12月18日、今年も楽しいクリスマス会が開催されました。

今年にはSON・京都創立15周年です。今までお世話になった団体、個人の方をお招きしての感謝の会でもあります。荒巻名誉顧問のご挨拶、支援いただいている団体・個人の方々への感謝状の贈呈等を行いました。

これからもご支援をお願いいたします。

式典が終われば楽しい食事タイム、各テーブルではアスリートの会話が弾みます。

お腹が一杯になったところでアスリートによる歌の披露、そしてビンゴゲームと続きます。

ほぼ全員に賞品が当たったところで終了。

最後に岡本副理事長のあいさつで閉会となりました。



荒巻名誉顧問



アスリートの歌



コーチの皆さんに感謝



アスリートが作った新聞です
京都のアスリート、古井直光君は毎月「光新聞」という新聞を手書きで作成されています。日々思う事や身の回りの出来事を新聞にして発行されています。興味のある方はお問い合わせください。



スペシャルオリンピックス・ユニティカップ経過報告

1.開催概要

- ◆開催日時：2010年7月3日（土）2010FIFAワールドカップ準々決勝当日の試合前
- ◆会場：グリーンポイントスタジアム（南アフリカ、ケープタウン）
- ◆試合形式：11人制、20分（10分ハーフ）
- ◆主旨：世界中で何百万人の視聴者がいるワールドカップにおいてサッカー界や各界の著名人とスペシャルオリンピックス（S0）のアスリートがチームを組み、ユニファイド（S0アスリートと障がいのない人がチームやペアで参加する独自の競技形式）の試合をすることでS0の認知度を向上させ、スポーツを通じてインクルージョンのメッセージを共有する。
- ◆参加者：ワールドカップに出場する32カ国から選ばれたスペシャルオリンピックスのアスリート16人、およびサッカー界の伝説的人物や各界の著名人

【スペシャルオリンピックス・日本 アスリート】
 橘 勇佑：スペシャルオリンピックス日本・京都
 1991年10月生まれ 京都府京都市在住



【サッカー界・各界の著名人 16名】
 中田 英寿、ジェイコブ・ズマ（南アフリカ共和国大統領）
 チャン・ツイイー、ディケンベ・ムトンボ（S0グローバルアンバサダー）
 クラレンス・セードルフ、アラン・シアラー、ローリー・フェア、
 エンリケ・ボルハテオフィロ・クビジャス、デジリー・エリス、スティーブ・サマー
 ケビン・キーガン・クリスティアン、カランブー・ルーカス・ラデベ

◆主なスケジュール（選考～出発）

- 4月19日：S0国際本部より、橘勇佑スペシャルオリンピックス・ユニティカップ出場決定通知
- 5月21日：「スペシャルオリンピックス・ユニティカップ記者発表」@岸記念会館
- 5月22日：日本代表 岡田武史監督表敬訪問@さいたまスタジアム
- 6月 4日：京都にて橘さん取材（NHKおはよう日本・TBS情報番組Nスタ・新聞各紙）
- 6月19日：adidas様ご招待・パブリックビューイング日本代表戦観戦@埼玉アリーナ
- 6月29日：成田空港出発

2.記者発表

- ◆開催日時：2010年5月20日（木）14:00～
- ◆会場：岸記念会館1階 日本スポーツマンクラブ
- ◆出席者：有森 裕子 認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本 理事長
 橘 勇佑 NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・京都 アスリート
 井垣 勉 日本コカ・コーラ株式会社 広報本部
 コーポレートコミュニケーションズグループ部長
- ◆主旨：スペシャルオリンピックス・ユニティカップの開催、そしてこの史上初の取り組みに、本からアスリートが出場すること、そして橘勇佑さんの挑戦を広くメディアに発表し、知的発達障害のある人達の可能性、そして日本ではまだまだ認知度の低いスペシャルオリンピックス活動を広めるための広報活動として開催いたしました。
- ◆協力：日本コカ・コーラ株式会社

【取材メディア】

- 1 テレビ局
 日本放送協会、TBSテレビ、TOKYO MX

2 全国紙

朝日新聞社、毎日新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社

3 専門紙

商業経済社、小売経済新聞社、スポーツニッポン新聞社、日本運動具新報社、食品産業新聞社

週刊食品、帝国飲食料新聞社、自動販売機新聞社

※ 参加メディア総数 計16媒体 25名



ユニフォーム提供：アディダス ジャパン株式会社

会場関連協力：(財)日本体育協会、日本スポーツマンクラブ、メディアセンス株式会社、株式会社ジェイブレイン

3.スペシャルオリンピックス・ユニティカップ

◆参加者：橘 勇佑

同行者：橘 ひとみ（母）、新宅 正明（SON副理事長）、
 宍戸 咲季子（SON広報）、園部 さやか（SONアスリートケア）

◆主なスケジュール（日本出発～スペシャルオリンピックス・ユニティカップ～日本帰国）

6月29日：日本出発→米国/アトランタ到着

30日：米国アトランタ出発→南アフリカ/ヨハネスブルグ経由→ケープタウン到着

7月 1日： 16:00 ウェルカムセレモニー

 19:30 夕食会 デザート会（コーチ、アスリートVIPゲストと交流会）

2日： 10:00 現地SO交流会

 14:30 チーム練習

 19:00 夕食会（南アフリカの著名人を迎えた催し）

3日： 14:00 スペシャルオリンピックス・ユニティカップ キックオフ

 19:30 夕食会（ユニティカップ表彰式）

4日：南アフリカケープタウン出発→南アフリカ/ヨハネスブルグ経由→米国アトランタ到着

5～6日：米国/アトランタ出発→日本到着

※デルタ航空からマイレージ寄付により往復渡航しました。

◆試合結果：（2－2）橘勇佑 10分間フル出場、1アシスト



ユニティカップに参加して

橋 勇佑

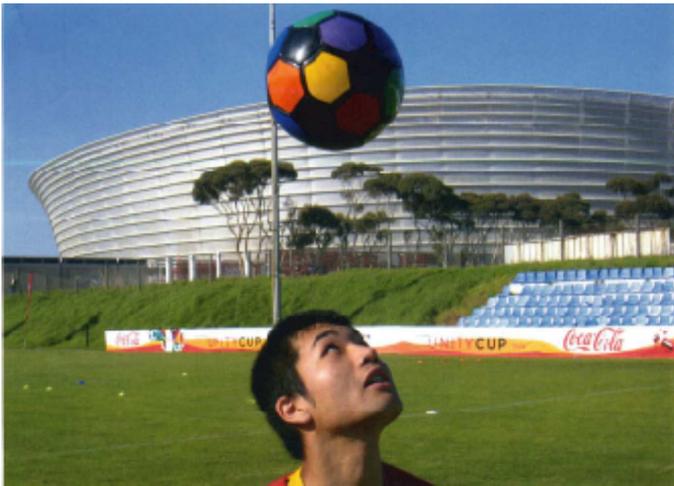
6月29日から7月6日まで、アメリカのアトランタ、南アフリカのケープタウンに行きました。まず成田空港を出発し、アトランタで1泊しました。アトランタでは水族館やコココーラの博物館、街並みを見たりして観光しました。

南アフリカのケープタウンでは、着いた翌日から地元のSO（南アフリカ）との交流会がされました。僕はサッカープログラムに参加し、日本人との差を感じました。体格・身体能力・筋肉の付きかた・練習のやり方等全てにおいて上でした。

午後からユニティカップに出場するメンバーと練習しました。その時初めて中田英寿さんに会い、喋ったりしました。その後バスに乗って練習場に向かい練習をしました。ズマ大統領やチャン・ツイイさん、ACミランのセードルフ選手とすごい顔ぶれでした。練習は楽しかったし、練習の際、中田さんに通訳してもらいました。

練習後、ホテルに戻りちょっとだけ休憩し16:00ぐらいから古いお城に移動してパーティーに参加し、南アフリカ料理を食べました。パーティーを終えてバスに乗り、ホテルに戻って直ぐに寝ました。

翌朝（試合当日）朝食を食べた後、11:00ごろまでゆっくりしていました。11:10ぐらいからグリーンポイントスタジアムに移動しました。着いてすぐウォームアップを10分くらい行い、5分後に試合をしました。試合は2-2の引き分けでした。自分が目標としていた1ゴール出来なかったことが悔しかったし、芝に水が撒いてあって足が滑りました。何本かシュートを打てたので、もっと精度を上げたいと思いました。



© PHOTO KISHIMOTO

2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ

大会概要

スペシャルオリンピックスでは、オリンピックと同様に4年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。2011年6月25日～7月4日の10日間にかけて、アテネで夏季世界大会が開催されます。スペシャルオリンピックス日本では、「2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪」の結果を基に選考された日本選手団を派遣します。

1) 大会名称：2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ

英文：Special Olympics World Summer Games Athens 2011

2) 開催時期：2011年6月25日～7月4日

ホストタウンプログラム 6月20日～6月24日

3) 開催地：ギリシャ共和国、アテネ

4) 参加者：アスリート・・・185ヶ国・地域より7,500人

コーチ・役員・・・2,500人

ボランティア・・・25,000人

5) 日本選手団：アスリート 52人

コーチ・役員 23人



6) 開催競技・式典会場：22公式競技を実施/日本選手団として派遣するのは9競技

競技・式典	会場
開/閉会式	Kallimarmaro Panathinaikon Stadium
水泳競技	Olympic Aquatics Center (Indoor Pool) (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)
陸上競技	Olympics Stadium (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)
バドミントン	Fencing Hall 1 (HELC- Helliniko Olympic Complex)
ボウリング	Spata Blanos Sports Park (予定)
ゴルフ	Glyfada Golf Course
体操競技	Olympics Indoor Hall (HELC- Helliniko Olympic Complex)
卓球	Sports Training Halls 2 (SEFP- Peace & Friendship Stadium Pireaus)
テニス	Olympic Tennis Center (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)
バレーボール	Olympic Stadium Sports Hall (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)

7) その他イベント

- ・ヘルシー・アスリート®/国際法執行者トーチラン®/ホストタウンプログラム
- ・グローバルユースサミット/スペシャルオリンピックスフェスティバル
- ・ユニティ・スポーツ・イベント